



掛川市の施政方針「人と環境の持続可能性」



2023.5.28

掛川市長 久保田 崇

協働によるまちづくり中央集会

掛川市のまちづくりのビジョン	1
急速に変化する未来年表	2
第2次掛川市総合計画 ポストコロナ編	3
『対話』と『チャレンジ』	6
1 地区集会	7
2 プロフェッショナル人材の登用	8
3 自動運転の実証実験	9
4 オーガニックビレッジ宣言	10
5 未来チャレンジ事業	12
「人」と「環境」の持続可能性	13
1 環境の持続可能性	14
2 未来の担い手であるこども達のために	16
3 人の持続可能性	19
地方分散の受け皿づくり	21
移住定住の促進	22
人に優しいデジタル化	23
まちなかのにぎわい創出	24
NHK大河ドラマ「どうする家康」	25
各分野の改革	
1 教育・子育て	26
2 農業・茶業	28
3 防災	30

掛川市のまちづくりのビジョン

■ 持続可能な未来に向けて、新しいステージに挑むとき

令和5年度基本方針 『人と環境の持続可能性』

戦略方針 『未来に向けてチャレンジできるまち掛川』



「生涯学習都市宣言」と「自治基本条例」の理念を実現するため、市民一人ひとりが輝き、いつでも、誰でも、何回でも、「未来に向けてチャレンジできるまち」を目指します



まちづくりの基本姿勢 <3つのしこう>

対話志向

- 積極的に本音の対話を重ね、状況や思いを共有し、まちのさまざまな課題に取り組むとともに、対話を通じた心豊かな人づくりにつなげます

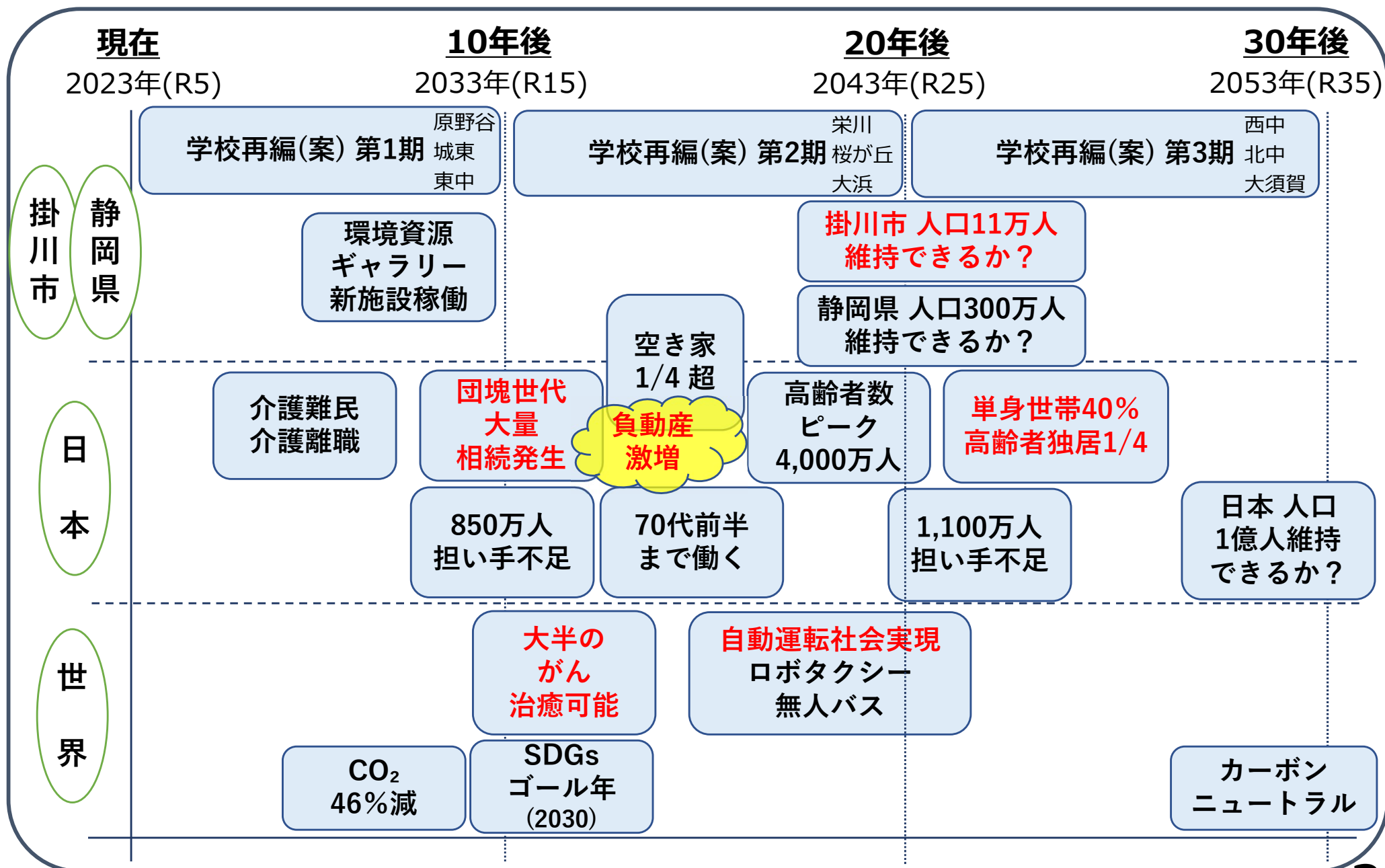
柔軟思考

- 固定観念や既存の手法に捉われることなく、時代や社会の変化を的確に捉えながら、新しいまちづくりを進めていきます

未来試行

- これまでの地域での積み重ねを大切にしながら、さらに新しい考え方や感性、デジタルなどの技術を活用し、持続可能なまちを目指します

急速に変化する未来年表



※出典 牧野知弘、河合雅司『2030年の東京』、奥真也『未来の医療年表』、鈴木貴博『日本経済 予言の書』ほか

第2次掛川市総合計画 ポストコロナ編 2021~2025

■ 将来人口の目標値

- ・ 持続可能なまちづくりを目指し、令和22年(2040年)の人口を11万人に設定
- ・ 令和7年(2025年)の目標人口を115,400人とする

将来人口	持続可能な掛川市を目指し、2040年に人口11万人を維持するために… 2025年の目標人口 115,400人						
将来人口構成	2025年の目標人口 115,400人の構成は <table border="1"> <tr> <td>年少人口(0-14歳)</td> <td>15,300人 (13.2%)</td> </tr> <tr> <td>生産年齢人口(15-64歳)</td> <td>66,300人 (57.5%)</td> </tr> <tr> <td>高齢人口(65歳以上)</td> <td>33,800人 (29.3%)</td> </tr> </table>	年少人口(0-14歳)	15,300人 (13.2%)	生産年齢人口(15-64歳)	66,300人 (57.5%)	高齢人口(65歳以上)	33,800人 (29.3%)
年少人口(0-14歳)	15,300人 (13.2%)						
生産年齢人口(15-64歳)	66,300人 (57.5%)						
高齢人口(65歳以上)	33,800人 (29.3%)						



掛川市将来人口と社人研推計



【将来人口の算出方法】

- ・ 推計方法
基準値を2020年12月末住民基本台帳の実績値とし、コーホート要因法により算出
- ・ 合計特殊出生率
2040年に国が目標とする希望出生率1.80となることを仮定
- ・ 移動率
コロナ以前(2015年~2018年)の移動率を仮定

※「社人研推計人口」は、2015年国勢調査の実績値をもとに、国立社会保障・人口問題研究所が試算した推計値

※「実績・将来人口」は、2015年と2020年のみ住民基本台帳の実績値

第2次掛川市総合計画 ポストコロナ編 2021~2025

■ 将来人口のシミュレーション

- ・ 基準値を、令和2年(2020年)12月末現在の住民基本台帳人口116,907人
- ・ 仮定値 ①**出生率** (ア・イ・ウ) × ②**社会移動数** (エ・オ・カ)
- ・ ①**出生率の仮定(2040年)**

ア[低位]社人研による掛川市における推計	出生率1.74
イ[中位]内閣府の「希望出生率」を仮定した場合	出生率1.80
ウ[高位]掛川市の出生率の実績を全国比較した見込	出生率2.00
- ・ ②**社会移動数の仮定**

エ[低位]社人研による掛川市における推計	
オ[中位]直近の4年間(H29~R2住民基本台帳)から推計	※5年間で231人増加
カ[高位]コロナ以前の4年間(H27~30住民基本台帳)から推計	※5年間で1,587人増加

※推計人口は、上記基準値をベースに、社人研(国立社会保障・人口問題研究所)の推計に準拠して計算(平成30年推計の生残率、移動率、子ども女性比、0~4歳性比を係数とする)。

※内閣府の示す「希望出生率」とは、夫婦の意向や独身者の結婚希望等から算出した「国民の希望が叶った場合の出生率」(平成22年出生動向調査)
(既婚者割合×夫婦の予定子ども数+未婚者割合×未婚結婚希望割合×理想子ども数)×離別等効果≒1.8

第2次掛川市総合計画 ポストコロナ編 2021~2025

■シミュレーションパターン

・パターンF

出生率の仮定【中位】

×

社会移動数の仮定【高位】

※社会移動数：転入者数から転出者数を差し引いた数

※社会移動は段階的に増加すると仮定し、「1年間の増加数」は最大増加仮定時の年間増加

	出生率	社会移動数		補足 (年数)
	2040年 (R22)	1年間の増加数	2040年 (R22) ※2020年からの増加数	
パターンA (ア×エ)	1.74	0	0	・出生率 1.64→1.74 [低位] ・社会移動の施策なし [低位]
パターンB (ア×オ)	※社人研 推計	+46人	+805人	・出生率 1.64→1.74 [低位] ・社会移動年 46人増 [中位]
パターンC (ア×カ)		+300人	+5,250人	・出生率 1.64→1.74 [低位] ・社会移動年 300人増 [高位]
パターンD (イ×エ)	1.80	0	0	・出生率 1.64→1.80 [中位] ・社会移動の施策なし [低位]
パターンE (イ×オ)	※希望 出生率	+46人	+805人	・出生率 1.64→1.80 [中位] ・社会移動年 46人増 [中位]
パターンF (イ×カ)	1.80	+300人	+5,250人	・出生率 1.64→1.80 [中位] ・社会移動年 300人増 [高位]
パターンG (ウ×エ)	2.00	0	0	・出生率 1.64→2.00 [高位] ・社会移動の施策なし [低位]
パターンH (ウ×オ)	※実績 からの 可能性	+46人	+805人	・出生率 1.64→2.00 [高位] ・社会移動年 46人増 [中位]
パターンI (ウ×カ)		+300人	+5,250人	・出生率 1.64→2.00 [高位] ・社会移動年 300人増 [高位]

■シミュレーション結果

・パターンF

⇒R7年(2025年)

115,358人

R22年(2040年)

110,522人

少子高齢・人口減少の中、
将来人口の目標値クリアは
大きな課題

	2020年(R2)	2025年(R7)	2030年(R12)	2035年(R17)	2040年(R22)
パターンA	116,907	114,300	111,174	107,619	103,581
パターンB	116,907	114,429	111,572	108,298	104,540
パターンC	116,907	115,146	113,773	112,045	109,825
パターンD	116,907	114,507	111,565	108,166	104,246
パターンE	116,907	114,637	111,965	108,849	105,210
パターンF	116,907	115,358	114,178	112,615	110,522
パターンG	116,907	114,507	111,815	108,895	105,433
パターンH	116,907	114,637	112,218	109,586	106,411
パターンI	116,907	115,358	114,443	113,395	111,797

『対話』と『チャレンジ』

■ 『対話』

- ・これまでの生涯学習や協働のまちづくりを深化
- ・「本音の対話」によって互いの状況や思いを率直に知り合う



具体例

- **様々な機会を通して多くの市民と対話**
 - ・多くの市民との対話を実践し、意思疎通を図る
- **かけがわまちづくりミーティング2022&地元ミーティング**
 - ・まちづくりミーティング 7月30日（土）開催
 - ・地元ミーティング 8月から11月まで全地区で順次開催
- **新規就農者や子育て団体との意見交換**
 - ・様々な立場の方と意見交換を行い、市政に反映



■ 『チャレンジ』

- ・急速な時代の変化により新しいステージに挑むときを迎える
- ・市民一人ひとりが輝くまちづくりのために



具体例

- **プロフェッショナル人材の公募**
 - ・掛川市として初めて副市長を公募し、市政を改革
- **「おむつリサイクル・ごみ減少推進会議」の設置**
 - ・ごみ減量の更なるステージへ向けた取組を開始
- **高校生チャレンジ公募事業の募集**
 - ・若い世代がまちづくりに取り組むきっかけ



1 地区集会

■ 令和4年度の取組

4年ぶりの開催・市内30会場で803人のみなさまが参加

○ かけがわまちづくりミーティング2022

- ・ 23人の(10代～70代)多様な世代間での意見交換(学生・子育て世代・地区役員世代)
- ・ ファシリテーションを導入した対話を体験する場
- ・ まちづくりに参加する楽しさや、チャレンジする機運を育むきっかけ
 - ・ 対話から相互理解や一人ひとりの新たな発想や気づきにつながる
 - ・ ワークショップではそれぞれの思いや意見の把握ができる



○ 地元ミーティング

- ・ 29会場、780人の地区役員の方々と対話
- ・ 地域の課題や市の施策等の意見交換を行い、市民主体のまちづくりの更なる発展
- ・ 開催単位は地区単位から中学校区単位までの中で、地域が選択

地区自由テーマの主な内容

- ・ 道路や河川などの草刈り
- ・ 役員のなり手不足
- ・ 農業振興地域
- ・ 空き家対策



■ 令和5年度の取組

○ 市内全地区で開催予定

- ・ 開催単位：地区単位から中学校区単位までの選択制
- ・ 開催時期：8月～11月

市民主体の協働のまちづくり ～持続可能な地域づくりの実現～

2 プロフェッショナル人材の登用

■ 副市長の公募



掛川市初、副市長の全国公募

- 様々な側面から市政の改革を担う
- 市民目線でのスピード感のある柔軟な市政改革

【応募資格】

- ・ 企業や団体において、組織を改革するようなプロジェクトに携わった経験をお持ちの方
- ・ 周囲や関係者の声に耳を傾け、対話・調整ができるコミュニケーション力をお持ちの方

■ 広報戦略官

- ・ 広報、CPの現場責任者として、企画やメディアへのアプローチなどに携わる
- ・ 掛川市の魅力や政策について市内外へ発信し、魅力的な街へ育てる

■ スケジュール

R3. 9.30 エン・ジャパン(株)と包括協定
10.18~11.14 公募

**副市長1,498人、広報戦略官229人
DX推進員173人の応募**

- R4. 4. 1 石川紀子副市長 着任
松久晃士氏、大松良司氏 DX推進員就任
7. 1 林映子氏 広報戦略担当就任
R5. 4. 1 尾村義孝参事(デジタル戦略担当) 着任

■ デジタル戦略担当・「地方創生人材支援制度」

- ・ ICTなどの技術を活用した市役所業務、市政、市民生活の改革を推進
- ・ プロジェクトマネージャーとして、施策立案、実装に向けた企画・設計など



石川紀子副市長



松久晃士DX推進員



林映子広報戦略担当



尾村義孝参事(デジタル戦略担当)

3 自動運転の実証実験（令和4年度の取組）

■ 概要

- ・ 新たな移動手段として先端技術を活用した自動運転車両の活用を検討
- ・ 静岡県、東急(株)、ソフトバンク(株)などと連携
- ・ 実証実験は、8月と12月に実施



かけがわチャ（茶）レンジ号

○実証実験 実施内容

- ・ 第1回 8月1日(月)～7日(日) 14時～16時30分まで
- ・ 第2回 12月5日(月)～11日(日) 14時～19時まで

■ 運行区間

- ・ 掛川駅から三の丸広場までを運行



■ 遠隔監視

- ・ 掛川市役所の3階テラスにコントロールセンターを設置し、運行状況を遠隔監視

左側ディスプレイ

- (1) 2台の車両に設置したカメラのリアルタイム映像
- (2) 車両の位置情報を地図に表示
- (3) 車両の通信状況
(監視・操縦の品質に直結)

中央ディスプレイ

- (1) 各車両のカメラの映像を大画面で表示
- (2) カメラは車両に10台設置されており、死角をなくすよう配置、車内も撮影している
- (3) 自動運転システムの動作状況を確認

遠隔運転席

- ・ 映像の遅延（タイムラグ）を0.2秒以内に短縮した遠隔運転専用ディスプレイ
- ・ 6台のカメラ映像を使用し遠隔運転

操作パネル

- ・ タッチスクリーンで各画面の制御や遠隔操縦の制御を行う
- ・ 遠隔運転時の緊急停止ボタンを装備
- ・ 車内、車外に設置したマイク・スピーカを使い車内外との通話が可能

4 有機農業 宣言

掛川市はオーガニックビレッジであることを宣言します

■ オーガニックビレッジとは

- ・ 有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻きこんで地域ぐるみでチャレンジするまち
- ・ 「有機農業実施計画」を策定し、実現に取り組む

■ 有機農業実施計画とは

- ・ 5年後に目指す目標を設定
- ・ 「生産→流通→加工→消費」まで一貫した取組体制を構築
- ・ 生産者、農協、茶商組合、市内スーパー・直売所など多くの関係者が協力して策定

掛川市オーガニックビレッジ宣言



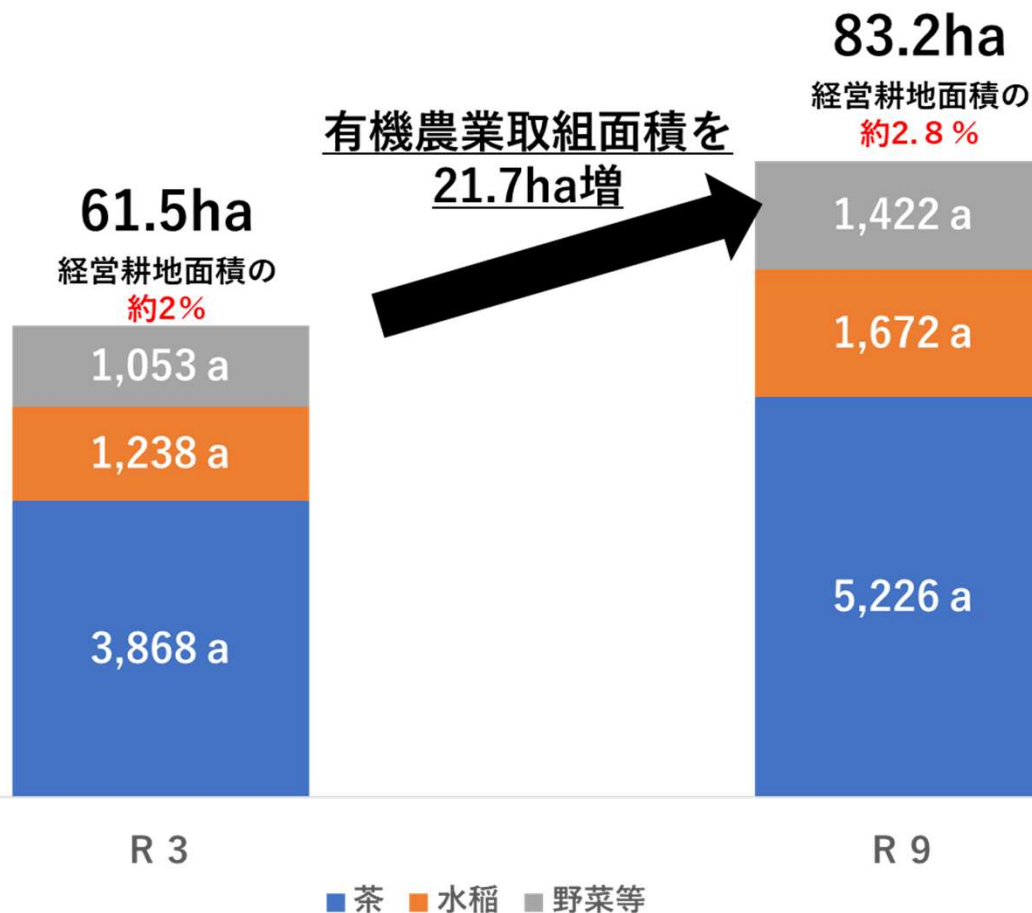
「有機農業産地づくり推進交付金事業」に、
掛川市が県内で初めて採択

4 オーガニックビレッジ宣言

有機農業に積極的にチャレンジするまち掛川

■ 掛川市有機農業実施計画 期間R5～9（5か年）

○有機農業面積の目標



○生産段階の推進の取組

- ・新規就農者の受入、支援体制の構築
- ・栽培技術指導のため講師を招聘
- ・有機専用モデル区画の整備
- ・肥料の地産地消の取組や有機肥料の実証実験

○流通・加工・消費等の取組

- ・有機農業をPRするためのマルシェ開催
- ・茶の輸出拡大
- ・学校給食での提供、学習機会の創出
- ・マーケティング人材の育成
- ・ECサイトを活用した販路の多様化

5 未来チャレンジ事業

■ 掛川市高校生チャレンジ公募事業

- 住みやすいまち、豊かに暮らせるまちの実現
 - ・様々な年代や団体が目指す将来像や目標に向かってまちづくりに取り組む
 - ・若い世代に「自分ごと」として、まちづくりに関わる意識の醸成

【テーマ】・高校生団体が提案する社会貢献につながる事業
【委託上限額】・50万円（税込）

高校生がまちづくりに取り組む機運の醸成
若い世代の人材育成の場

■ ふらっと美術館プロジェクト

- 文化振興を通じた協働のまちづくりの実現
 - ・文化振興計画(R5改定)の推進
 - ・市民の文化芸術活動における活動拠点などの拡充

【概要】・6月～8月 美術館ロビーの改修、設備設置
・9月～3月 ロビーでワークショップやミニコンサート
の開催など

ふらっと立ち寄れる、敷居もフラットな二の丸美術館
多様な目的で多世代が訪れる賑わいの場



ミニコンサート
ワークショップ

「人」と「環境」の持続可能性

■ 令和5年 掛川市の展望

掛川市は「持続可能な地域」を目指して、「対話」と「チャレンジ」で、次の項目を中心に取り組んでいく

1 環境の持続可能性 ごみ減量の更なるステージへ

2 未来の担い手である子ども達のために

3 「人」の持続可能性への取り組み

1 環境の持続可能性

■ 「ごみ減量日本一」の継続（2年連続全国1位達成！）

- ・ 環境省が行った令和3年度一般廃棄物処理実態調査において、掛川市は、年間1人1日あたりのごみ排出量が、人口10万人以上50万人未満の部で最も少ない自治体となった
- ・ 市民や事業者の皆様による継続的な取組に感謝します
- ・ 更に市民のごみ減量意識と子どもの環境意識を高めるため、掛川市指定ごみ袋に小学生によるごみ減量標語を掲載

～ 掲載する最優秀作品：ごみの分別できてる？あなたの判断で未来が変わる～



▲ごみ減量標語入賞者の皆さん

■ ごみを燃やさず資源化する仕組みづくり ～更なる高みを目指して～

- ・ 環境の持続性と豊かな暮らしの実現に向けて、市民や専門家などで構成する「掛川市おむつリサイクル・ごみ減量推進会議」を設置。5/15（月）に第1回会議を開催
- ・ 会議では、「ごみを燃やさずに資源化するための仕組み」を主に検討する
- ・ 資源化を検討する主な項目は、「使用済紙おむつ」、「生ごみ」、「製品プラスチック」、「剪定枝・落ち葉」など
- ・ 使用済紙おむつを利用した再生紙おむつや燃料生産による循環、生ごみを利用した農業用肥料生産による循環など、「循環型のまちづくり」の実現を目指す

■ 新たな廃棄物処理施設の建設準備

- ・ 地元との対話を重ね決定した方針に基づいて基本計画等を策定し、安定的で安全安心な施設整備に向けた取り組みを進める



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

掛川市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

1 環境の持続可能性

■ 地球温暖化対策

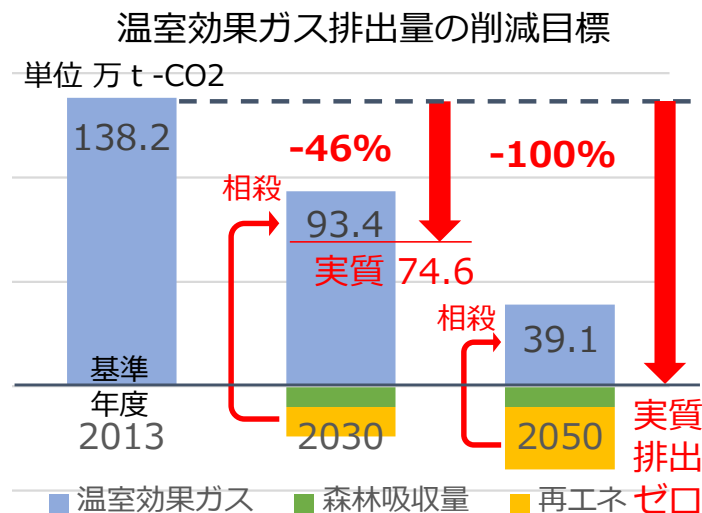
- 令和5年3月、掛川市地球温暖化対策実行計画を改定
掛川市域の温室効果ガス排出量の削減目標を見直し

中期目標 > 2030年度：2013年度比46%削減
長期目標 > 2050年度：カーボンニュートラル

- 家庭の温室効果ガス削減では、蓄電池等の新エネルギー機器を設置した市民に買物券を助成
- 企業の温室効果ガス削減では、中小企業等省エネ設備導入補助を今年度からスタート
- 掛川市としても、3つの給食センターを含む6施設への太陽光発電施設の設計や、中央図書館や大東支所など照明LED化を推進

■ 掛川版 地域循環共生圏への取組

- 国の「SDGs未来都市」に認定
- 地域新電力かけがわ報徳パワー(株)と連携し地産エネルギーの地消や地域課題の解決の取組を進める
- 地域の再生可能エネルギーを地産地消することにより、公共施設の再エネ利用100% (RE100) を目指す



公共施設への太陽光発電の設置



海岸エリアに連なる風力発電

2 未来の担い手である子ども達のために

小・中学校再編の検討 子どもファーストでより良い教育環境の実現へ

■ 学校再編の目的

- ・教育の変化に対応した「新たな学校づくり」の推進
- ・少子化の進展や子どもの偏在、学校施設の老朽化への対応



■ 学校再編の目指すもの

- ・園小中一貫教育の推進 一貫教育の効果が発揮できる学校づくり
- ・中学校区学園化構想の推進 地域の教育力と連携した地域総ぐるみの教育の推進
- ・多様な教育活動ができる集団規模の確保 適正な学校規模と配置

■ 令和5年度の取組

- ・学校再編計画の策定
パブリックコメント、議会全員協議会、教育委員会定例会を経て、8月を目途に学校再編計画を策定する
- ・原野谷学園小中一貫校の基本構想策定
市内1校目となる原野谷中学校区（原野谷学園）の小中一貫校整備事業基本構想を策定する。地域の意見を伺いながら協議していく

学校再編計画の策定 ～理想の学校像実現へ～

2 未来の担い手である子ども達のために

部活動改革

多様なニーズへの対応と持続可能な活動体制の実現へ

■ 部活動改革の目的

- ・ 持続可能な新たな文化・スポーツ活動環境の構築
- ・ 少子化や多様化への対応
- ・ 教員の働き方改革



■ 部活動改革の目指すもの

- ・ 子どもたちが取り組みたい文化・スポーツ活動にチャレンジできる
- ・ 文化・スポーツ活動を支える地域の人材を育て、人の持続可能性が保障された活動環境の構築
- ・ 教員が魅力ある授業づくりや生徒指導対応により深く取り組むことができる

■ 令和5年度の取組

- ・ 「かけがわ地域クラブ（仮称）」の創設
従来の学校が運営する部活動を廃止し、地域団体運営による持続可能な新たな文化・スポーツ活動「かけがわ地域クラブ（仮称）」をつくる
- ・ かけがわ地域クラブ設立連絡協議会の開催
令和8年度中までの3年間（移行期間）で創設準備を進めるため、かけがわ地域クラブ設立連絡協議会及び種目ごとの検討部会を開催する

2 未来の担い手である子ども達のために

制服&校則改革

多様なニーズへの対応と持続可能な活動体制の実現へ

■ 制服&校則改革の目的

制服

- ・ 機能性の向上や家庭の経済的負担の軽減
- ・ 快適に生活できる服装を生徒自らが判断し、選択できる

校則

- ・ 子どもを主体に見直しを推進し、自ら考え、自ら判断できる人づくり

■ 制服&校則改革の目指すもの

- ・ 他律から自律へ
- ・ 多様性を尊重し合う文化の創設
- ・ より快適な学校生活の実現

ポイント

- ～スラックス～
- ・ 汚れが目立たない
- ・ 誰でも似合う無地



ポイント

- ～スカート～
- ・ お茶(みどり)、桔梗(むらさき)を基調とした掛川市限定スカート

■ 令和5年度の取組

デザイン決定した新制服

- ・ 令和6年度新制服の導入に向けて
令和5年4月に児童生徒の投票を踏まえ、デザイン決定。機能性の向上や多様性への対応などを見込み、市内全中学校で着用できる新制服を令和6年度に導入する
- ・ 校則の見直しを市全体で推進
令和4年11月に作成した校則の見直しに関するガイドラインをもとに、「他律から自律」をキーワードにした校則の見直しを市全体で推進する

3 「人」の持続可能性

将来にわたり活動の担い手を引き継ぐことができる仕組みづくり

■子育て支援

○子ども医療費完全無料化事業

- ・子育て世帯の経済的負担の軽減
- ・子育てしやすい環境の進展

【概要】・対象 0歳～高校3年生相当年齢
・令和5年10月から自己負担分完全無料化
追加：入院時の食事療養費
拡充：小学生以上の通院費の負担見直し

対象年代	種別	自己負担額	
		9月30日まで	10月1日から
未就学児	通院	無料	無料
	入院	無料	無料
	食事療養費	対象外	無料
小学生以上 高校生年代	通院	1回500円 月4回まで	無料
	入院	無料	無料
	食事療養費	対象外	無料

○4市1町連携保育士等キャリアアップ研修事業

- ・「かけがわ乳幼児教育未来学会」の取組を、令和5年度より4市1町(磐田市、袋井市、菊川市、森町)と連携
- ・保育士等の処遇改善と専門性の強化

【概要】・4市1町がA～Gまでの7つの分野で研修を実施
A乳児保育、B幼児教育、C障害児保育、D食育・アレルギー対応、E保健衛生・安全対策、F保護者支援・子育て支援、Gマネジメント
・実施期間：令和5年度～7年度(予定)



研修の様子



「子育てしたい掛川市」、「選ばれる掛川市」の実現へ

3 「人」の持続可能性

将来にわたり活動の担い手を引き継ぐことができる仕組みづくり

■ 担い手不足への対応

○ 自走式草刈り機 リースdeお試し事業

- ・ 道路や河川の草刈りなど、持続可能な愛護活動
- ・ 危険箇所などにおける怪我のリスクを解消

- 【概要】
- ・ 令和5年度は本格導入に向けた実証実験
 - ・ 市が複数台の機種をリースして、12地区で実証実験
 - ・ 本格導入後は幅広い世代で活用も可能



自走式草刈り機

○ 掛川市人事改革プロジェクト

- ・ 意欲的で、視野の広い優秀な人材を確保し、良質で安定的な市民サービスの継続的な提供
- ・ 職員の働きがいの向上、掛川市に対する誇りの醸成

- 【概要】
- ・ 職員採用に関するWEBサイトの作成
 - ・ 各職種の仕事風景の動画配信
 - ・ 市の取組の動画紹介
- 市の魅力や政策など幅広く情報発信し、「掛川市役所」で働きたいと思う人材の発掘



「持続可能な掛川市」、「選ばれる掛川市」の実現へ

地方分散の受け皿づくり

産業基盤の整備やまちづくり事業により「地方分散の受け皿」となる

- **大坂・土方工業用地 西工区**（11.9ha）
 - ※ 2区画造成（北側区画／南側区画）
 - ・ 令和2年5月 造成工事着手
 - ・ 令和3年6月 北側区画・興国インテック(株) 新工場建築工事着工
 - ・ 令和4年7月 造成工事完了
10月 興国インテック(株)操業開始
 - ※ 南側区画・企業誘致中
- **上西郷地区整備推進事業**（41.2ha）
 - ・ 令和3年3月 事業者からの企画公募開始
 - ・ 令和3年12月 (株)日本エスコンを事業協力 予定者に決定
 - ・ 令和4年9月 造成工事着手
- **新エコポリス第3期工業用地**（約33ha）
 - ・ 令和4年度より事業開始
- **新東名掛川第2PA**（約3.7ha）
 - ・ 早期事業着手に向けて調整を進める
- **下垂木地区まちづくり事業**（52.1ha）
 - ・ 令和3年度 第二期計画スタート
 - 桜が丘通り線、神田一丁田線南工区などを整備



「大坂・土方工業用地 西工区」

上西郷地区整備推進事業の3つのテーマ

- ・ 持続可能なまちづくり
- ・ 新時代を目指すまちづくり
- ・ ポストコロナ社会を見据えたまちづくり



「上西郷地区整備推進事業」イメージ図

移住定住の促進

あなたの夢、描いたつづきは掛川で。
テレワークが進み、掛川市を含む県西部も首都圏の通勤圏へ

- **移住相談会**
首都圏で行われる移住フェアへ出展するほか、オンラインを活用した相談会を開催し、全国からの相談に対応
令和5年度 静岡まるごと移住フェア（年2回）東京有楽町掛川DAY（出張移住相談）
〃
オンライン移住相談会（毎月）
- **地域おこし協力隊の活用**
地域おこしの支援や地域協力活動を行いながら、移住者モデルとして市と伴走しさらなる移住者を呼び込む
令和5年度新規隊員を増員（予定）
- **移住体験ツアーの開催**
リアルな掛川を体感してもらうことを目的に移住体験ツアーを開催し市の魅力を伝える
- **「選ばれる都市」となるための情報発信**
まちの様子や暮らしぶりを発信し、移住地として選ばれる都市を目指す
- **地域等と連携したマッチングの強化**
地域等と連携し、移住希望者とのマッチングを図るとともに、丁寧な案内によりさらなる移住者増に繋げる



静岡県掛川市 With 地域おこし協力隊
オンライン移住相談会

【日 時】
4/20日(木)・5/18日(木)・6/29日(木)・7/27日(木)
8/31日(木)・9/28日(木)・10/12日(木)・11/16日(木)
12/7日(木) ※6/28日(木)・2/29日(木)・3/14日(木)
【時 間】①13:00 ②14:00 ③15:00 (所要時間：40分)

【費 用】無料 先着順！ 要予約！
【場 所】ご自宅などお好きな場所で、Web(Zoom)で
【使用ツール】Zoomアプリ ※事前にダウンロードしてください。

【予約・申し込み方法】
お問い合わせは、お電話かメールにてお願いいたします。
【お問い合わせ先】
掛川市 地域おこし協力隊 センター
〒416-0001 静岡県掛川市 掛川駅前通り
TEL: 0537-21-1205
FAX: 0537-21-1197
E-mail: orinomori@kakegawa-city.jp

出張移住相談
掛川DAY
市の職員が出陣し、移住相談をさせていただきます！
掛川市での暮らしについて、お気軽にご相談ください。

【日 時】
令和5年 6月17日(土) / 10月21日(土)
※日程：午後1時～5時まで

【会 場】
掛川市議会2階 ふるさと回帰支援センター内
（静岡駅前移住相談センター）（Jリネ有楽町駅から徒歩1分）

【お申込み】
メールにて、以下をご確認ください。
①氏名 ②年齢 ③メールアドレス ④電話番号 ⑤ご希望の地域等
※当日の定員まで受け付けます。

お問い合わせ先：掛川市地域おこし協力隊 センター
〒416-0001 静岡県掛川市 掛川駅前通り
TEL: 0537-21-1205



地域おこし協力隊
芳川翠さん

人に優しいデジタル化

■ デジタル化の方向性

- あらゆる分野の基盤にデジタル化を意識
- 令和4年度、「DX推進計画」を策定
- ノウハウのある民間人材の力も借りてデジタル化を推進
- スマホで行政手続きがどこからでもできる「手のひら市役所」
- LINEやTwitterなどのSNSによる情報発信を強化



■ デジタル化の取組

豊かな 地域づくり

- ・ G I G Aスクール構想
- ・ データ公開の推進
- ・ 防災対策への活用



行政サービ スの向上

- ・ 電子申請の推進などマイナンバーカードの活用促進
- ・ 市事業のWeb配信など市民生活の利便性向上
- ・ 多言語対応AIチャットボットの導入
- ・ 庁内キャッシュレス化の取組を開始



働き方の 転換

- ・ R P A を活用した業務効率化
- ・ 電子決裁、テレワークの拡大
- ・ 保育所等 A I 入所選考システムの導入



まちなかのにぎわい創出

■ かけがわストリートテラス

- ・居心地が良く歩いて楽しめるウォーカブルなまちを目指す
- ・三の丸広場、連雀西交差点歩道にストリートチャーを設置

期間 令和3年11月1日～令和6年3月31日



静岡理工科大学の学生がデザインを考案

■ チャレンジBASEなかまち（街なか空き店舗活用事業）

- ・空き家及び空き店舗の増加抑制、商店街の活性化や街なかの賑わいの創出を目指す
- ・建物概要 市内中町3-21・床面積66㎡・3区画

期間 令和5年1月1日から最長6ヶ月間（第2期）

BASE1 神さまアロマ・WEB STUDIO 神楽、
BASE2 K・アゴラ、BASE3 Pasele ばせれ



第3期募集中
期間 令和5年7月1日から最長1年以内

■ 掛川大手門駐車場 最大2時間無料 社会実験

- ・「歩いて楽しめるまち」を目指した社会実験
- ・商店街の営業時間に合わせ、午前9時から午後7時までの時間帯を対象

期間 令和4年10月15日～令和4年12月18日

実験結果

利用台数 4,508台
利用者 市内193/市外254名
利用目的 観光 38.8%
イベント 16.3%
散策 14.1%



NHK大河ドラマ「どうする家康」

■ 概要

- ・ 令和5年1月8日放送開始、NHK大河ドラマ第62作、主演：松本潤ほか
- ・ 徳川家康公の波乱万丈な生き様が主題
幼少期は駿河の戦国大名今川氏の人質、その後、三河の弱小国の一武将として戦国乱世の時代に身を投じ、乱世を終焉させ日本の平和を願い、東海を舞台に奮闘
- ・ 注目は、掛川城と高天神城の戦い
今川氏、武田氏らと繰り広げた遠江（とおとうみ）・駿河の覇権をめぐる戦いで、若き日の家康公が活躍する舞台として登場

3月26日掛川城登場・今後は高天神城に期待！

家康公ゆかりの地“掛川”を盛り上げる企画も随時開催

■ AR・VRによる高天神城の復元

- ・ 戦国時代の城の姿をAR（拡張現実）とVR（仮想現実）の技術を活用し復元



■ 講演会の開催

高天神城AR・VRイメージ

「高天神城の戦いと徳川家康」

とき 令和5年7月1日（土）
13:30～16:30

ところ 掛川市生涯学習センター

講師 小和田哲男氏（戦国史研究家）
加藤理文氏（城郭研究家）
平山優氏（歴史研究家）



天正年間初めころの高天神城イメージ図

■ 横須賀城家康読本の作成

- ・ 掛川城と高天神城に続く待望の第3弾！



改革 1 教育・子育て ①

義務教育は100年に一度の変革期

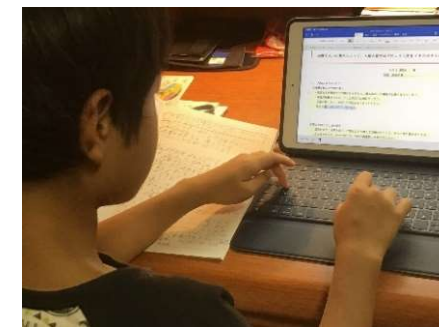
令和2年度 市内すべての小・中学生に一人一台タブレット
令和4年度 小学校高学年に教科担任制が本格導入

■ 教育情報化の推進

- ・ 授業へのオンライン参加
- ・ インターネットでの情報収集
- ・ 特性に応じたICT活用



タブレットを活用した対話的な学び



タブレットを活用した家庭学習

■ 特色ある取組

○ かけがわ教育の日

- ・ 市民総ぐるみで教育の振興を図るため毎年開催

○ 中学校区学園化構想

- ・ 市内9つの中学校区ごとに、園・学校・家庭・地域が連携して子どもを育む教育を実施

○ かけがわお茶の間宣言

- ・ 家族団らんの場である「お茶の間」から生まれる財産をもとに、豊かな広がりのある人づくりにつなげる取組

A collage of promotional materials for 'かけがわ教育の日' (Kakegawa Education Day). It includes a main banner with the text '子どもを主役に、市民総ぐるみで考える' and 'かけがわ教育の日' in large characters. Below the banner are several smaller images and text boxes. One box mentions '令和4年11月19日(土) 津川地区学習センターにて、3年ぶりに記念行事を開催し、およそ500人の市民が参加しました。' Another box features a quote from a representative: '我が家の「宝もの」内巻・巻封... 市民総ぐるみで教育の振興を図るため毎年開催'. A third box mentions 'かけがわ教育の日' and '子どもを主役に、市民総ぐるみで考える'. The bottom part of the collage shows a website interface with the text '令和4年11月4日(金)～令和5年3月10日(金)まで、Webページ特設サイトにて、順次情報配信を行い、全25コンテンツ、約36,036回の閲覧をいただきました。' and 'しまん 特色' and 'どんな宝もの?' with a price tag of '¥5,643'. The bottom right corner has a small note: '※1階「かけがわ教育の日」実行委員会・1階1号ブース「お茶の間」宣言書展示。' and '※2階「かけがわ教育の日」展示ブース。'"/>

改革1 教育・子育て ②

待機児童ゼロの継続、 質の高い乳幼児教育・保育のために

■ 様々な子育て支援策

- ・子どもの貧困対策、虐待・DV相談、要保護児童対策、女性保護等子どもが育つ環境支援
- ・子育てコンシェルジュの訪問活動
 - ・子育て総合案内サイト「かけっこ」による情報発信の充実
 - 「かけっこちゃんねる」開設、YouTubeによる子育て支援施設の紹介動画配信
- ・地域子育て支援センターなど18か所の子育て支援施設で子育て親子の支援
- ・子育てにやさしい事業所づくりの推進



■ 幼児教育・保育環境の充実

○ 幼児教育・保育環境の整備

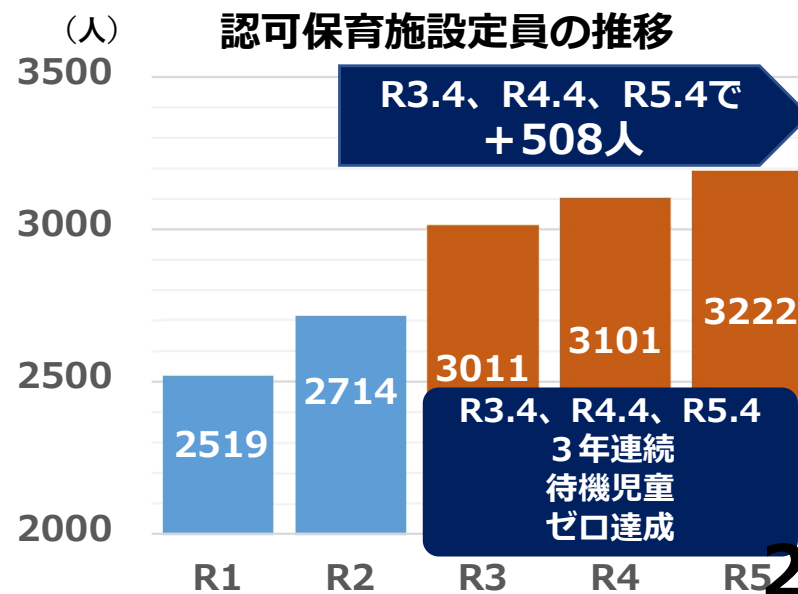
- ・R5.4 きとうこども園の開園
- ・市内の施設状況 計 47園
認可保育施設36園、公立幼稚園2園
認可外保育施設9園

○ 保育の質の向上

- ・かけがわ乳幼児教育未来学会の取組

○ 保育士の確保

- ・安定した保育士確保に資する事業の実施
お仕事応援相談会、就職応援資金貸付事業、
宿舍借り上げ支援事業など



改革2 農業・茶業 ①

掛川市の農業算出額は 4位 / 県内35市町 (R2市町村別農業産出額)
ブランド力を磨き 地域で育み 伸びゆく農業へ

■ 地域ブランドの発信

○ 掛川茶 掛川市は、全国茶品評会の深蒸し煎茶の部にて
全国最多の24回の産地賞を受賞

- ・ 掛川茶未来創造プロジェクト 期間：R4~8（5カ年）
～**10年後**も掛川が世界に誇れる「お茶のまち」であるために～
【生産】茶産地掛川を支える一次産業の所得向上
 - ・ 有機栽培の拡大
 - ・ 茶生産体制、基盤の再構築【流通】時代を先取りする流通構造への転換
 - ・ 持続可能な茶取引「茶業版フェアトレード」【消費】茶産地掛川の持続を可能とする消費拡大策の推進
 - ・ 掛川茶リブランディング事業
 - ・ 健康効能活用



新たなブランドイメージ
「お茶と暮らし」



ちゃんぱん（掛川茶乾杯酒）

○ 掛川牛、露地・施設野菜の振興

- ・ 指定産地作物の安定供給に向けた取組
- ・ 地域ブランドとして商標登録されているメロン、トマト、ニンジン、掛川牛や露地野菜（石川小芋、スイカ、サツマイモなど）や施設野菜（いちごなど）など農畜産生産者の支援

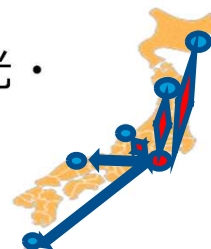


改革2 農業・茶業 ②

若い人が希望を持って参入できる仕組みづくりのために

■ 互産互消の展開

- ・ 地方都市とのネットワークを形成し、特産品・観光・定住の交流につなげて、地域経済の活性化を図る
- ・ 現在21地域産品の互産互消活動を展開中



これっしか処等で互産互消の商品を販売中

■ 規模拡大、環境整備支援

○ 土地改良事業

- ・ 令和4年度：市内12ヶ所を実施 事業地区：遊家家代、千浜など
- ・ 令和5年度：市内12ヶ所の実施中 事業地区：佐東、大坂、千浜、野中、五明、三井、正道、上内田

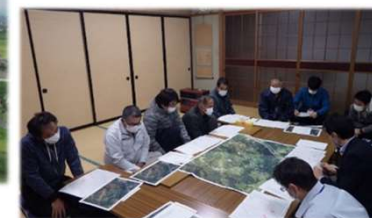
○ 人・農地プランの法定化

- ・ 令和5年度から、実質化された人・農地プランを土台とした地域計画の策定がスタート

■ 担い手への支援

○ 肥料価格高騰対策

- ・ 農業経営への影響緩和と持続可能な農業への転換を推進するため、国・県・市で価格上昇相当分を支援



基盤整備事業に向けた地元打合せ

○ 新規就農者支援

- ・ がんばる新農業人支援事業など
- ・ 次世代を担う農業者を志す49歳以下の者に、経営開始時の経営発展を支援する資金を交付
新規就農者育成総合対策事業

令和5年度予算 4人×750万円 = 3,000万円



新規就農者との意見交換



災害による死亡者ゼロを目指した 様々な取組

■ 海岸防災林強化事業「掛川潮騒の杜」の整備

- ・ 自然災害から生活を守り、市民が集い、楽しむ杜を目指して整備を促進
- ・ 全長約9 kmの海岸防災林をレベル2の津波に対応した高さに嵩上げ



掛川潮騒の杜の完成予想



■ 橋りょう耐震化

- ・ 重要路線等にある67橋の耐震化を進める

■ ソフト施策の充実

- ・ 災害による死亡者ゼロを目指し、避難の重要性の周知や、自助・共助の強化を図る
- ・ 「**防災ガイドブック (R4.9改定)**」の周知、「**家庭の避難計画**」の作成を推進
- ・ 令和5年度にガイドブック(4ヶ国語)作成予定

掛川潮騒の杜の進捗状況

項目	H26～R4	R5(予定)	R6～
施工延長	5,690m	1,181m	2,129m
施工延長 累計	5,690m	6,871m	9,000m
進捗率	63.2%	76.3%	100.0%
盛土量	146.6m ³	8.6万m³	44.8万m ³

■ 水害対策への備え

- ・ 令和5年度に今後の治水対策をまとめた「**総合治水計画**」を策定
- ・ 流域全体で水害を軽減させる「**流域治水**」を検討
- ・ 河川改修や浚渫を国、県と協力して進めるとともに、溜池や田圃などに洪水調整機能を持たせる活用方法の検討を進める
- ・ 小電力無線網を活用した「**河川水位観測システム**」による、河川状況の見える化により、防災対策に役立つ情報提供をする



河川水位観測システム
二次元バーコード →





ご清聴ありがとうございました

